

## 第20回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

### 1. 日 時

平成25年3月28日（木） 午前10時00分～午前11時00分

### 2. 場 所

箕面市役所 本館3階 委員会室

### 3. 出席者

#### （会 長）

- ・箕面市副市長 伊藤哲夫

#### （副会長）

- ・大阪大学大学院工学研究科准教授 松村暢彦

#### （監 事）

- ・街づくり支援センターみのお 清田栄紀

#### （委 員）

- ・大阪大学大学院工学研究科助教 猪井博登
- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 庄健介  
（代理出席） 都市計画部調査役 八畠敦
- ・阪急バス株式会社取締役自動車事業部長 西山哲  
（代理出席） 自動車事業部副部長兼営業計画課長 野津俊明
- ・社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 越智啓伸
- ・みのおの交通を考える会 永田よう子
- ・栗生第二住宅自治会防犯防災交通部長 浜本俊二  
（代理出席） 栗生第二住宅自治会会長 川本幹雄
- ・自転車道ネットワーク公募市民 松木亮
- ・分科会の副分科会長 井上整
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士
- ・株式会社ジェット統括本部長 妹尾一男
- ・東急不動産 SCマネジメント株式会社箕面マーケットパークイノベーション総支配人 友金聡
- ・株式会社ビバーレコトビバーワールド 箕面船場統括マネージャー 米津秀春
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（輸送） 黒田唯雄
- ・大阪府都市整備部交通道路室参事 森岡武一
- ・大阪府池田土木事務所参事兼維持管理課長 錦織慎
- ・箕面市みどりまちづくり部長 山田学  
（代理出席） みどりまちづくり部副部長 中井浩己
- ・大阪府箕面警察署交通課長 荒瀬公也
- ・箕面市健康福祉部長 小野啓輔
- ・箕面市地域創造部鉄道延伸・交通戦略統括監 柿谷武志
- ・学校法人大阪青山学園事務部経理課（地域連携室）課長 福田貴夫

- ・国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長 加納陽之助（オブザーバー）

**（欠 席）**

- ・箕面市市長政策室長 具田利男
- ・箕面市地域創造部長 広瀬幸平
- ・箕面市教育委員会事務局教育次長 中井勝次
- ・箕面商工会議所専務理事 松出末生
- ・有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官（総務企画） 南條正幸
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 河合良治
- ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 阪部光雄（オブザーバー）

以上、委員31名のうち24名出席、オブザーバー2名のうち1名出席。

**4. 議 題**

- (1) 各事業の実施結果について
- (2) 実証運行の状況について
- (3) 平成25年度の運行内容について
- (4) 利用促進策の取り組みについて
- (5) 平成24年度収支予算について
- (6) 平成25年度事業計画及び収支予算について
- (7) その他

**5. 議事要旨**

**(1) 各事業の実施結果について**

○サポーター店を巻き込んだ取組などは、周知にも力を入れることで、サポーター店を利用してもらえる仕組みをつくる必要がある。

→周知していきたい。もみじだよりや市HPなども活用しながら、速やかに情報提供が図れるよう考えていく。現在、大阪大学の松村准教授に取り組んでいただいている情報誌「ばすいく」で紹介しており、各公共施設に配布していきたいと考えている。

**(2) 実証運行の状況について**

○特になし

**(3) 平成25年度の運行内容について**

○奥地域における運行ルートの見直しや西田公園前バス停の新設は、確定事項か。

→関係機関との協議の結果、今回提示した内容でH25年度の運行を開始することとした。

○市民の交通権もふまえ、ルートの見直しも引き続きの検討課題としていただきたい。

→北大阪急行線の延伸など今後の社会状況をふまえ、市内の公共交通のあり方については、

引き続き検討していく。

○パターンダイヤの実現や一日乗車券の発行など、乗継に配慮した運行内容になっている。運行ダイヤでも配慮できているのか。

→粟生団地、かやの中央、箕面駅において乗継の利便性に配慮したダイヤに。例えば、かやの中央から粟生間谷地域ルートに乗り継ぐ場合や、かやの中央か如意谷方面へ乗り継ぐ場合など、乗継に配慮したダイヤになっている。

○オレンジゆずるバスだけでなく、阪急バスとも連携した事業としていただきたい。

→料金面など、調整が難しい問題もあるが、北大阪急行線の延伸などもふまえ、今後の交通のあり方を議論していきたい。

○5月に実施する運行開始までの周知方法を教えていただきたい。

→もみじだよりの4月、5月号で広報を行い、また、バスマップや時刻表を記載したチラシを箕面市の全世帯に配布する予定である。さらには、バス停についても、分かりやすいよう工夫していく。

○運行開始当初は混乱が予測されるため、バス停に案内員を配置した方が良いのではないか。

→100以上のバス停で対応するのは困難であるが、4月1日からバス車内で施行するデジタルサイネージなども使いながら、事前の情報提供を徹底することで問題の解決を図っていく。

○運転手にはより一層、親切な対応をお願いしたい。

→バス運行事業者にも配慮いただき、改善が図られている。今後も親切な対応をバス運行事業者をお願いをしていく。

#### (4) 利用促進策の取り組みについて

○特になし

#### (5) 平成24年度収支予算について

○補助金の内訳について、箕面市が負担する総額が分かるような資料にいただきたい。

→次回の協議会で、平成24年度の決算報告を行う際に、提示していく。

#### (6) 平成25年度事業計画及び収支予算について

○介護保険による補填がなされる背景を教えていただきたい。

→利用者の約56%が高齢者である。オレンジゆずるバスが、高齢者の外出を支え、健康促進に寄与しているとの考えに基づくものである。

○収支見込を実現するためには、既存の利用者だけでなく、新たな利用者の取り込みを狙った情報発信が必要である。

→利用促進には引き続き、注力していく。

#### (7) その他

○休日の実証運行については、1年間で今後の方向性を見極める必要がある。市民意見を尊重した結論となるよう、工夫していただきたい。

→承知した。

○市民部会については、ルートや運行内容の要望を聞く場ではなく、自らにできることを考えてもらう場としていく必要がある。

以上